

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 胃癌 stage における H.pylori 除菌治療の及ぼす影響</p> <p>研究の対象 2006 年 1 月～2018 年 12 月に当院で化学療法を実施した進行胃癌（stage ）の方。</p> <p>研究の目的 胃癌の主な原因は Helicobacter.pylori(ピロリ菌)感染と言われています。ピロリ菌の除菌治療による胃癌抑制効果はこれまで多数の報告があり、早期胃癌や切除可能な進行胃癌に対し、再発予防目的に治療後 H.pylori 除菌治療が推奨されています。一方、切除不能進行胃癌（stage ）に対し、除菌治療を行った報告はほとんどなく、その効果は知られていません。Stage の胃癌化学療法直前、または化学療法開始後に除菌治療を行い化学療法が著しい効果を発揮した患者様を数例経験しました。そこで化学療法を実施した進行胃癌 stage の症例を進行胃癌と診断後に H.pylori 除菌治療を受けた症例とそれ以外の症例に群分けを行い、生命予後を比較することで、進行胃癌の化学療法における H.pylori 除菌治療の上乗せ効果について検討することが目的です。</p> <p>研究の期間 臨床研究倫理委員会承認日から 2020 年 12 月 31 日</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 情報：性別、年齢、症状、合併疾患、併用内服薬、癌進行度（TNM 分類）、Borrmann 分類、組織型、生活歴、家族歴、化学療法の内容、生存率をカルテの情報から調べま</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	す。
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究はございません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 医学部臨床研究センター 古田隆久
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの診療情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：第一内科 担当者：樋口友洋 TEL：053-435-2261 FAX：053-434-9447 E-mail：thiguchi@hama-med.ac.jp